

2026 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 Delta-Fly Pharma株式会社
(コード:4598 東証グロース)

今後の研究開発活動の予定について

当社は、主要開発品の臨床開発および各種規制当局との協議を着実に進め、開発パイプラインの価値向上に取り組んでまいります。今後予定している主な研究開発活動および重要なマイルストーンは、以下のとおりです。

- **DFP-10917 単剤およびベネトクラクス併用**

再発・難治性急性骨髄性白血病(R/R AML)を対象として開発を進めている DFP-10917 について、2026 年 12 月に米国ニューオーリンズで開催される ASH 2026 (American Society of Hematology Annual Meeting)への演題応募を行っており、採択された場合には、同学会において臨床開発に関する発表を予定しております。

また、2026 年 12 月から 2027 年 1 月頃に米国食品医薬品局(FDA)との協議を予定しており、これまでの臨床試験結果を踏まえ、今後の開発方針および承認申請に向けた開発計画について協議を進めてまいります。

- **DFP-17729**

膵がんを対象として日本国内で実施している DFP-17729 の第 2/3 相比較試験について、第 2 相部分の症例登録を完了しており、2026 年 11 月下旬に第 2 相部分のフォローアップ完了を予定しております。

その後、2026 年 12 月に OS(全生存期間)のデータベースロックを行い、2027 年 2 月上旬に独立データモニタリング委員会(DSMB)による評価を予定しております。DSMB による評価結果を踏まえ、第 3 相試験への移行および第 3 相部分に必要な症例数について判断する予定です。

当社は、本試験を通じて DFP-17729 の有効性および安全性を評価するとともに、膵がん患者に対する新たな治療選択肢の提供を目指して開発を進めてまいります。

- **DFP-14323**

DFP-14323 については、日本国内で実施している第 3 相試験において、引き続き症例登録を進めてまいります。主要基幹病院を中心とした医療機関との連携を強化し、着実な症例登録および臨床開発の推進に取り組んでまいります。

当社は、これら主要開発品の臨床開発を着実に進展させるとともに、規制当局との協議、臨床試験および国際学会での発表等を通じて、各開発品の価値を最大化し、一日も早い患者への新たな治療選択肢の提供を目指してまいります。

問合せ先 : <https://www.delta-flypharma.co.jp/ir/ircontact/>

以 上